



えいぜん通信@北陸



新潟スタジアム

- 投稿者：新潟県土木部都市局営繕課
- 撮影場所：新潟市中央区清五郎67番地12
- コメント：H31～屋根鉄骨等補修工事

Contents

事業紹介

松任税務署の整備	【北陸地方整備局 営繕部 整備課】	2
新潟スタジアム屋根鉄骨等補修工事	【新潟県 土木部 都市局 営繕課】	3
石川県立こころの病院 管理診察棟改築工事	【石川県 土木部 営繕課】	4

トピックス

新任幹部職員の紹介	6
-----------	-------	---

保全だより

官庁施設の防災性能の低下を防ぐ	【北陸地方整備局 営繕部 保全指導・監督室】	8
-----------------	------------------------	---

整備局からのお知らせ

公共建築に関する情報発信	【北陸地方整備局 営繕部】	9
--------------	---------------	---

松任税務署の整備

(北陸地方整備局 営繕部 整備課)

1. 整備の経緯

松任税務署は、昭和45年に完成後、50年以上経過しており、経年による老朽、行政サービスの多様化に伴う庁舎の狭隘を解消するため、既存庁舎の全面改修と庁舎増築による一体整備を行ったものです。

2. 整備にあたっての主な配慮事項

(1) 一体整備による施設機能の向上

既存庁舎のエントランスから増築棟への動線や2階への動線は、利用者に分かりやすく、施設のセキュリティ管理にも配慮した位置に再整備しています。

また、会議室に移動間仕切を設置し、多用途に効率よく利用出来るよう配慮しています。

(2) 地球環境負荷低減に配慮した施設整備

既存庁舎を含めて、屋根・外壁・建具等の断熱性能を向上させ、外部負荷の抑制を図るとともに適正な設備システムを設定して省エネルギー化を図っています。

また、内装等の木質化を促進する観点から、階段室及び廊下の壁に木材利用を行っています。

(3) ユニバーサルデザインに配慮した施設整備

敷地内の外構は、安心・安全な施設へのアプローチ通路（歩車分離、段差解消、歩道・屋根付きスロープ）、分かりやすいサイン等、全面的に再整備を行っています。

また、エントランスから近い位置にエレベーターを配置し、利用者の利便性向上を図っています。

■施設概要■

○名称	松任税務署
○所在地	石川県白山市博労2-22
○構造・規模	既存庁舎：RC造 2階建て 延床面積 484㎡ 増築庁舎：S造 2階建て 延床面積 651㎡
○工期	令和2年10月～令和4年1月
○設計	株式会社都市環境設計
○監理	設計室タイム
○施工者	名工建設 株式会社 北陸支店 株式会社 島野電機商会 株式会社 山森工業



庁舎 外観



1F廊下（内装材の木材利用）



屋根付きスロープ

新潟スタジアム屋根鉄骨等補修工事

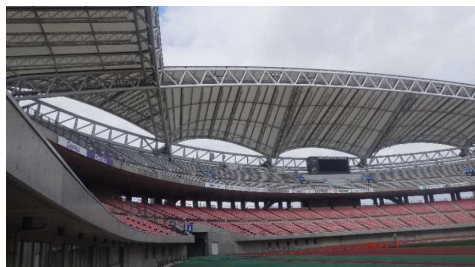
(新潟県 土木部都市局 営繕課)

1 事業の概要

新潟スタジアム（デンカビッグスワンスタジアム）は2002年FIFAワールドカップを開催した新潟県を代表する施設ですが、建設後約20年が経過し、屋根鉄骨の塩害による腐食や塗装の劣化が進行しています。

このため平成27年度に屋根鉄骨の詳細点検と健全度評価を行い、これを受け施設全体のライフサイクルコストを踏まえた上で、屋根全体を複数のエリアに分けて補修工事を行うことや塗料の選定などの補修方法を決定しました。

工事は屋根鉄骨の腐食の著しいエリアから、「その1工事」、「その2工事」と順に実施しています。



2 改修内容

屋根鉄骨は発錆部の調査を実施し、錆の進行状況に応じた鉄骨の補修を行います。その後エポキシ系塗料による塗装を多いところで4層塗重ね、フッ素樹脂塗料で仕上げます。また、改修範囲内の高力ボルトは全てを同径の防錆処理高力ボルトへ交換します。

キャットウォークなどの亜鉛メッキ面は、常温亜鉛めっき工法による塗装改修と、溶融亜鉛めっき高力ボルトへの交換を行います。

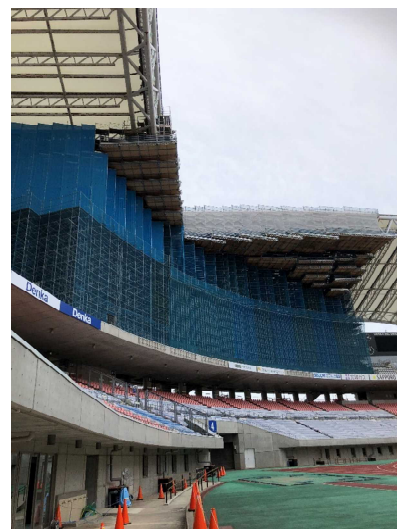
その他、照明器具等の吊設備用下地鉄骨やケーブルラックの撤去・新設等を行っています。

3 工事で考慮した内容

ビッグスワンスタジアムはJ2アルビレックス新潟のホームゲームが行われる会場であり、また陸上などのスポーツ大会や地域のイベント等が行われます。これらの施設利用を継続しながら工事を進めるため、客席上部の屋根鉄骨に吊り足場を採用しています。また、イベント時の来場者の往来に影響がないことや落下物対策を十分に行うなど来場者の安全に配慮した仮設計画としています。

屋根鉄骨の補修に先立ち鉄骨発錆部の調査の実施や、腐食の進行に応じた鉄骨補修方法の選定、鉄骨面の付着塩分濃度の管理、錆が取り切れない場合を想定した残存錆抑制下塗り塗料の採用等を行っています。

塗装色は既存と同色とし、ビッグスワンのイメージを踏襲しています。



■施設概要■

○名称	新潟スタジアム (デンカビッグスワンスタジアム)
○所在地	新潟県新潟市中央区清五郎67番地12
○竣工年	平成13年3月
○構造・規模	SRC造 地上5階 延床面積 88,418㎡
○工期	(その3工事) 令和2年6月～令和3年11月
○設計・監理	株式会社 日建設計
○施工者	株式会社 福田組

石川県立こころの病院 管理診療棟改築工事

(石川県 土木部 営繕課)



全体完成イメージ

1 事業の目的

当施設は、築50年以上が経過して、老朽化が著しくなるとともに、狭隘な間取りやバリアフリーへの未対応など様々な課題が生じていました。そこで、管理・診察部門（施設全体の約1/3）を対象として、以下の3点をコンセプトに新たに整備し直すこととしました。

(1) 患者に配慮した受診環境の整備

▶高齢化社会の進展や、社会構造の変化により増大する精神科医療の需要への対応

(2) バリアフリー化などの環境整備

▶来院者が穏やかに気持ちよく利用できる魅力的な環境の整備

(3) 研修機能などの機能強化

▶認知症医療に関して、県内外からの医療関係者の視察や研修への対応

2 工事の特徴

施設を運用しながら現地建替えを行うため、5工期に分けて順次建替えを行っています。

準備期：宿舎棟等の解体、仮施設の整備

I 期：検査棟・管理棟等の新築、既存棟の解体①

II 期：診察棟等の新築、既存棟の解体②

III 期：エントランス棟等の新築、外構、既存棟の解体③

IV 期：地域連携棟の新築、外構

3 施設の機能

I 期では、『検査棟』としてCTやX線などを使った検査を行う検査部門と、作業療法などを行うリハビリ部門を整備しました。また、『管理棟』として薬局や購買、喫茶コーナー等を備えた厚生部門と、大小の会議室を備えた研修部門を整備しました。

II 期では、『診察棟』として認知症・精神疾患・児童発達障害の診察を行う診察部門と、医師や看護師等の医局部門を整備しました。診察部門においては、診察室を症状別にエリア分けすることで、異なる症状の患者が混在することを避け、患者が落ち着いて受診できるよう配慮しました。



I 期 検査棟等(外観)

Ⅲ期では、『エントランス棟』として総合受付や玄関前の車寄せなどを整備しています（現在、工事中です）。また、次年度のⅣ期では、『地域連携棟』として医療相談やケア会議室を備えた連携部門を整備する予定です。

当施設は精神科病院であることを踏まえ、ガラス面(採光)を多く採り、木目を基調とした内装と丸柱など丸みを帯びたデザインを採用することで、明るく柔らかい空間づくりを心掛けています。



Ⅱ期 診察棟（精神疾患外来、認知症外来）



Ⅰ期 管理棟（大会議室）



Ⅰ期 管理棟（廊下）



Ⅱ期 診察棟（こども外来）

■施設概要■

- 名称 石川県立こころの病院
- 所在地 石川県かほく市内高松 地内
- 構造・規模
 - Ⅰ期 検査棟 : RC造3階建て 1,282㎡
 - リハビリ棟 : S造2階建て 262㎡
 - 中央渡り廊下 : S造2階建て 207㎡
 - 管理棟 : S造3階建て 1,734㎡
 - Ⅱ期 診察棟 : S造4階建て 2,477㎡
 - 渡り廊下 : S造2階建て 38㎡
 - Ⅲ期 エントランス棟 : S造2階建て 693㎡
 - 渡り廊下 : S造3階建て 68㎡
 - Ⅳ期 地域連携棟 : S造平屋建て 284㎡
 - その他 : RC造平屋建て 114㎡
- 工期
 - Ⅰ期 : 令和元年6月～令和2年9月
 - Ⅱ期 : 令和2年11月～令和3年10月
 - Ⅲ期 : 令和4年 2月～令和4年10月
 - Ⅳ期 : 令和5年度予定
- 設計・監理 (意匠)株式会社 T. O. N. E.
(構造)小西建築構造設計
(設備)株式会社 ムラシマ事務所
- 施工者
 - Ⅰ期 : 真柄・サンエキ特定JV
表・小倉特定JV
北菱電興・今一電気特定JV
津幡・岸特定JV
菱機工業 株式会社
坂室電機 株式会社
 - Ⅱ期 : 表・豊蔵・小倉特定JV
北菱電興・今一電気特定JV
菱機・羽咋設備特定JV
株式会社 津幡工業
 - Ⅲ期 : 豊蔵・表特定JV
株式会社 今一電気商会
株式会社 津幡工業
 - Ⅳ期 : 未定

新任幹部職員の紹介



北陸地方整備局 営繕部長 野口 久

令和4年4月1日付けで営繕部長を拝命しました野口と申します。北陸地方整備局勤務は初めてとなります。どうぞよろしくお願いいたします。

官庁営繕のミッション(根幹的使命)は「国民の共有財産である官庁施設に関して、良質な施設及びサービスを効率的に提供し、公共建築分野において常に先導的な役割を果たす」ことです。

これをさらに突き詰めれば、国家公務員が働く床の整備(確保)であると、私は考えています。

営繕部の役割として、床の整備だけにとどまらず、今日的な課題、例えば、ワーク・ライフ・バランスを確保するための働き方改革、担い手確保、DX、カーボンニュートラル、地方公共団体との連携といった課題に取り組む必要があります。これらを「バランスよく実施すること」を北陸地方整備局での仕事の目標としたいと思っています。

みなさまにはいろいろとお世話になります。よろしくお願いいたします。



北陸地方整備局 営繕部 営繕調査官 峯村 高志

令和4年4月1日付で、北陸地方整備局営繕部営繕調査官を拝命しました峯村です。どうぞよろしくお願いいたします。

前任地は一般財団法人建設業振興基金で2年間、国家試験である電気工事施工管理技術検定の試験問題を作成する仕事に就いておりました。

国土交通省を離れておりましたこの2年間は、官庁営繕事業におきましても新型コロナウイルス感染症対策の影響を強く受け、営繕部での仕事の行い方が大きく変化いたしました。特に、まだ試行段階と受け止められていた感があったBIMを始めとした生産性向上、i-Constructionに係る取り組みは、労働人口が減少していく中、さらに働き方改革も求められる背景とあいまって進展したと感じており、今後これらの取り組みを包含したインフラDXを推進してまいります。

北陸地方整備局営繕部では公共建築相談窓口を設けております。インフラDXなどのあらたな取り組みをはじめ、公共建築に関する各種お悩み事にお答えしてまいりますので、あわせてよろしくお願いいたします。



北陸地方整備局 金沢営繕事務所長 村山 強

令和4年4月に金沢営繕事務所長に就任いたしました。

北陸勤務は初めてですが、着任早々管内で頻発する地震の多さに驚いています。

営繕事務所ではございますが、国土交通省の大きな柱である防災には注視し「地震や風水害の発災時」は迅速に対応できるよう、日頃から準備を怠らぬようにしたいと思います。

金沢市は「本市固有の伝統環境の破壊防止と近代都市に調和した新たな伝統環境を形成する」と昭和43年に表明し、その部類の条例を日本で初めて制定したそうです。

事務所における施設整備や保全指導を通して、少しでもこの「伝統と近代建築が共存した魅力ある都市」の公共建築の発展に寄与できればと考えております。皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願いいたします。



新潟市 建築部 公共建築課長 田中 正博

令和4年4月1日付けで公共建築課長に就任いたしました田中です。

新潟市は、新潟駅直下バスターミナルや万代広場、在来線ホーム全ての高架化など、「にいがた2km」を中心とした都心エリアのまちづくりが大きく動き始めております。

新型コロナウイルスや建設資材の高騰など公共建築を取り巻く状況は厳しい状況となっておりますが、防災・環境・福祉・情報化・品質確保など良質な施設整備に取り組んでいきたいと考えておりますので、今後とも皆様のご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

保全だより

官庁施設の防災性能の低下を防ぐ

～施設管理者が「知ってよかった！」と思わず膝を打つ事柄をまとめました～

(北陸地方整備局 営繕部 保全指導・監督室)

今年度6月に、災害の発生による官庁施設の事故・故障等の発生を未然に防止し、施設利用者等の安全を確保する観点から官庁施設の施設管理者の方々に対して情報提供を行うため、「官庁施設の施設管理者のための防災機能確保ガイドブック」が作成されました。

「官庁施設の施設管理者のための防災機能確保ガイドブック」

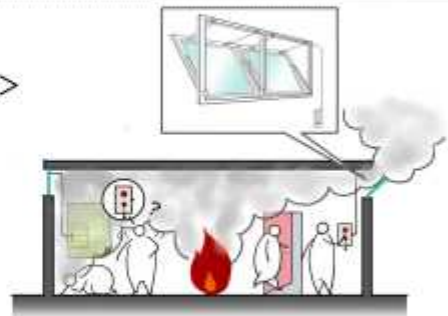
は、次の点に着目しています。

- ・ 建物の損傷、腐食その他の劣化により、防災性能が低下した状態
- ・ 関係法令等の改正により、防災性能が最新の基準を満たしていない状態
- ・ 過去の模様替えや不適切な運用などにより、意図せずに防災性能が低下した状態

例：煙の逃げ道、塞いでいませんか？

<排煙窓が開かない状態、排煙オペレーターが見えない状態>

膨れ上がって迫ってくる煙を、
逃がす方法はちゃんとあるんです！
窓を開けるボタンやスイッチを
ポスターで隠すなんて・・・



本ガイドブックでは、建物の各部位や機器が持つ防災上の役割や機能について、

- ・ 本来どのような状態にあるべきなのか
- ・ その根拠となる法令等の規定は何か

を整理し、“災害に備えるためにすべきこと” をとりまとめています。

また、施設管理者が発災時にすべきことについて、主な指針や要領等も整理してガイドブックと同時に官庁営繕部ホームページに掲載していますのでご活用ください。

https://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk3_000008.html

公共建築に関する情報発信

(北陸地方整備局 営繕部)

■官庁営繕工事における 遠隔臨場の本格導入について

令和4年7月1日より入札手続きを開始する、原則、全ての工事で遠隔臨場を実施します。

令和2年度より監督職員の立会い等の一部について動画撮影用のカメラ等とWeb会議システム等を利用して遠隔臨場を試行してきましたが、結果として、監督職員、受注者共に作業効率化等の効果が確認された、一方で通信環境に関する課題が多く見られました。

この結果等を踏まえて通信回線速度の要件等の見直しを行って、「官庁営繕事業の建設現場における遠隔臨場に関する実施要領」を作成しました。

対象工事における遠隔臨場の実施に必要な機材や通信費は発注者が負担することとしています。

また、参考資料として、建築工事における「工事が設計図書の内容に合致するかどうかの確認」を行うこととされる各項目の確認が遠隔臨場でも実施可能かどうかの目安について、「適応性一覧表」を作成して、実施要領と同時に国土交通省官庁営繕部ホームページで掲載しています。

https://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild tk4_000051.html

■令和4年度 「北陸地区官庁施設保全連絡会議」 の開催について

「北陸地区官庁施設保全連絡会議」は、国家機関の建築物の保全業務を担当している施設管理担当者に対して、保全業務の現況と課題等の情報提供及び意見交換を行うことを目的として開催しています。今年度、初めての試みで、新潟地区と石川・富山地区で合同開催（web+会場）します。

日時：令和4年7月5日（火）13：30～16：00

会場：新潟美咲合同庁舎1号館 4階共用会議室【新潟地区】

金沢駅西合同庁舎 7階共用第5A会議室【石川・富山地区】

議事次第(予定)

- ①北陸地整管内の保全の現況等
- ②保全に関する発生事故、故障の報告について
- ③災害発生時における官庁施設の被災情報の共有について
- ④政府実行計画について
- ⑤定期点検告示の改正について
- ⑥BIMMS-Nの活用について
- ⑦改正ビルメンテナンス業務の発注事務の運用に関するガイドラインについて
- ⑧保全業務共通仕様書等について
- ⑨アスベスト等の使用実態に関する集計結果について
- ⑩PCBの期限内処理について
- ⑪夏季の省エネルギーの取組について
- ⑫施設管理者のための防災機能確保について
- ⑬その他（情報提供）

■ 公共建築相談窓口

北陸地方整備局営繕部では、公共建築に関する技術基準の運用等、公共建築に関する技術的な相談を幅広く受け付けるための「公共建築相談窓口」を設置しています。

この窓口では、公共建築工事の円滑な施工確保の取組として、公共建築工事の予定価格設定等に関する相談の受付も行っています。

お気軽にご相談ください。

なお、国土交通省では、これまでに寄せられた相談を踏まえ、主な相談と回答をまとめた「Q&A」を官庁営繕部ホームページに掲載しています。

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk6_000063.html

- 北陸地方整備局営繕部計画課
TEL: 025-280-8880 (内線5153)
FAX: 025-370-6504
- 北陸地方整備局金沢営繕事務所技術課
TEL: 076-263-4585
FAX: 076-231-6369

e-mail: pb-soudan2011@hrr.mlit.go.jp

メールでのお問い合わせの場合は、機関名、会社名、担当者、連絡先等をご記入ください。

■ 出前講座

北陸地方整備局では、行政の透明性の向上と国民との対話を重視したコミュニケーション型国土行政の推進に向けた種々の取り組みのひとつとして、職員が直接、国土交通省の施策内容や、地域の方向性等について話をさせていただくとともに、地域の各種ニーズや生の声を聞かせていただき、行政にも反映させていくために、『出前講座』を実施しています。

『出前講座』の利用方法や講座のメニュー等を下記ホームページに掲載しています。

お気軽にご相談ください。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/manaviva/index.html>

出前講座出張例：

- ・営繕工事における働き方改革の取組
- ・営繕工事における生産性向上技術の更なる活用拡大 など

■ 工事・業務発注見通し及び入札公告に

関する工事概要について

北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所における工事や業務の発注見通し等は、下記ホームページに掲載しています。

北陸地方整備局営繕部

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>

北陸地方整備局金沢営繕事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/>

■ 発注情報メール配信のサービス内容

北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所では、営繕工事・業務の最新の調達情報をいち早く入札参加を検討される方々にお届けするため、「官庁営繕部発注情報メール配信サービス」を試行しています。公告日に、登録されたメールアドレスに配信されます。無料でご利用いただけますので、是非ご登録ください。

1 対象となる発注機関と工事・業務種別

(1) 発注機関

国土交通省大臣官房官庁営繕部

北陸地方整備局営繕部

北陸地方整備局金沢営繕事務所

北海道開発局営繕部

各地方整備局営繕部及び営繕事務所

沖縄総合事務局開発建設部営繕課

(2) 工事種別

建築、電気設備、暖冷房衛生設備、
機械設備（エレベーター）等

(3) 業務種別

設計、工事監理、調査検討、
測量・敷地調査

2 登録方法

北陸地方整備局営繕部のホームページにアクセスし、表示に従い登録手続を行ってください。

PC、タブレット、スマートフォン、携帯電話いずれの端末からも登録できます。

登録は無料です。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>



3 メール配信される発注情報

- (1) 工事名称または、業務名称
- (2) 工事種別、工事の等級区分、施工場所、業務の場合は、業務種別
- (3) 技術資料（工事）、参加表明書（業務）の提出締切日となります。

なお、正式な内容は、入札情報サービスにてご確認ください。

<http://www.i-ppi.jp>

■ 保全マネジメントシステム（BIMMS）

導入・活用事例集について

国土交通省では、市町村による公共建築物の個別施設計画策定を支援するため、個別施設計画を容易に作成できるBIMMSについて、地方公共団体が導入時に検討した内容や、活用状況をまとめた事例集を官庁営繕部ホームページに、掲載しています。

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk3_000025.html

■ QRコードが利用できます

北陸地方整備局営繕部
ホームページの「QRコード」を
作成しました。ご利用ください。



■ 施工管理技術検定試験合格証明書の 申請手続きについて

合格証明書の申請手続きについて、北陸地方整備局営繕部ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

北陸地方整備局営繕部は、新潟県、富山県及び石川県在住の方の下記資格について、再交付・書き換え窓口となっています。

資格名	受付担当課	電話番号
建築施工管理技士		
電気工事施工管理技士	営繕部 計画課	025-280-8880 (代表)
管工事施工管理技士		

* 英文証明書の発行も行っております。

以下、各機関のホームページをどうぞ、ご覧ください。

新潟県	https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/eizen/
富山県	http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1508/index.html
石川県	https://www.pref.ishikawa.lg.jp/eizen/index.html
新潟市	http://www.city.niigata.lg.jp/business/doboku/kokyokenchiku/index.html
北陸地方整備局営繕部	http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html
北陸地方整備局金沢営繕事務所	http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/

編集： 北陸地方整備局 営繕部 TEL025-280-8880 (代表) FAX 025-370-6504
北陸地方整備局 金沢営繕事務所 TEL076-263-4585 (代表) FAX 076-231-6369



えいぜん通信@北陸 令和4年6月発行

『えいぜん通信@北陸』は、北陸地方整備局、新潟県、富山県、石川県、新潟市での公共建築に関する取り組みなどについて情報発信をしています。